

THECOO

4255 東証マザーズ

## アーティスト・インフルエンサー・タレント等の ファン向けビジネスプラットフォームを提供

### 2つの事業を展開

事業内容は①Fanicon事業、②法人セールス事業に分類される。2021年1月～9月の9ヶ月業績は、Fanicon事業 売上高1,345百万円、営業利益-94百万円、法人セールス事業 売上高1,107百万円、営業利益35百万円である

### Fanicon事業

①Fanicon事業ではファンコミュニティプラットフォーム「Fanicon」の提供および管理を行っており。「Fanicon」は、アーティスト、※インフルエンサー、タレント等、以下「アイコン」とそのファンを繋げるサービス。同社はアイコンにファンコミュニティプラットフォーム「Fanicon」を提供する。アイコンは「Fanicon」を利用することで「シーン投稿」や「ライブ配信」といった「Fanicon」限定の情報発信、ファンとのチャット、グッズ販売などの「EC機能」、出演イベントのチケット販売などが可能となる。アイコンは、初期費用負担なしで「Fanicon」の利用を始めることが可能で、一方「Fanicon」から得られる売上は同社とレベニューシェアをすることとなる。

### 法人セールス事業

②法人セールス事業では、クライアント企業に対し、インフルエンサーを用いたマーケティング施策の実行支援を行っている。具体的にはクライアント企業や広告代理店からのプロモーション依頼を受けて、最適なインフルエンサーの提案・選定および施策内容の企画立案を行い、インフルエンサーが作成する制作物の進捗や内容確認を実施して、インフルエンサーのSNSへの投稿を支援している。当事業の収益はクライアント企業や広告代理店から受領する出稿料となる。

※インフルエンサーとはYouTubeやTwitter、InstagramなどのSNSにおいて他者の購買行動に強い影響力を有す者を指す。

**THECOO**

4255 東証マザーズ

## アーティスト・インフルエンサー・タレント等の ファン向けビジネスプラットフォームを提供

Fanicon事業の重要指標は、アイコン数、ファン数、ARPU

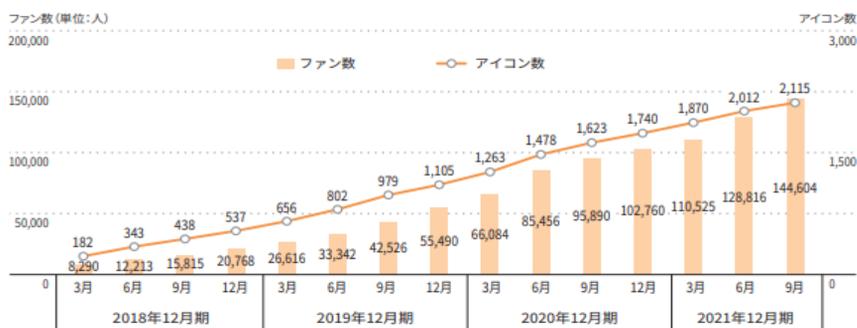
Fanicon事業の主な収益はファンからの月額課金によるサブスクリプション売上と購入されたポイントの消費によるサブスクリプション外売上から構成される。したがって同事業の重要指標としては、アイコン数、ファン数(有料課金ユーザー)、ARPU(ファン一人当たりの平均月当たり売上)があげられる。

### ファン数(有料課金ユーザー)は過去1年で約50%増加

2021年9月末までの1年間で、アイコン数は1,623から2,115に約30%、ファン数(有料課金ユーザー)は95,890人から144,604人に約50%増加している。ARPUに関してもサブスクリプション売上が513円から569円に、サブスクリプション外売上也637円から677円に増加している。同社では成長性のあるアイコンの開拓および、アイコンがFaniconを使いこなし、ファンとのコミュニティを盛り上げられるようアイコンをサポートし、Fanicon事業の拡大を図っている。



■ アイコン数及びファン数(有料課金ユーザー数)の推移(各四半期末時点)



(出展:会社資料より)

**THECOO**

4255 東証マザーズ

## アーティスト・インフルエンサー・タレント等の ファン向けビジネスプラットフォームを提供

### 中長期の業績見通し

21年12月期売上高は前期比46.2%増の3,392百万円を計画している。成長のけん引役はFanicon事業。同事業はファン数(有料課金ユーザー)が21年9月までの12カ月で約50%増加し、ARPUも拡大していることから、21年12月期売上高は前期比73.6%増の1,910百万円を見込んでいる。法人セールス事業においてはインフルエンサーを活用したプロモーション支援案件で大型案件に注力しており、売上高は前期比21.5%増の1,482百万円が見込まれている。

株式会社CyberZ、株式会社OEN、株式会社デジタルインファクトの共同調査「デジタルライブエンターテイメント市場規模予想2020年-2024年」によるとデジタルライブエンターテイメントの市場規模は、2020年140億円、21年314億円、22年492億円と高い伸びが予想されている。

市場拡大の追い風を受けてTHECOOの業績についても中長期的に高い成長が見込まれる。Fanicon事業を軸に今後数年、年率40～50%の成長が期待されよう。経常利益についてもこれまで赤字が続いてきたが、増収に伴い近い先に黒字転換が見られよう。

業績推移 (百万円・%)

決算期	売上高	伸び率	経常損失	伸び率	純損失	伸び率
2017/12	433	—	▲ 45	—	▲ 53	—
2018/12	794	83.2%	▲ 188	—	▲ 191	—
2019/12	1,447	82.3%	▲ 211	—	▲ 243	—
2020/12	2,320	60.2%	▲ 60	—	▲ 65	—
2021/12予	3,392	46.2%	▲ 113	—	▲ 116	—
2021/9 3Q	2,452	—	▲ 60	—	▲ 64	—
予想EPS/配当	単独:-円/-円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

## 免責事項(ディスクレマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

## ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話: 03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp